おちばすぎ



学校だより　　１学期末号
京田辺市立普賢寺小学校
令和２年８月６日（木）
８月６日現在　児童数９６名

揺れ動く状況の中で

校長　畑中　佳美

令和２年度第１学期が、明日８月７日に終了します。児童、保護者の皆さま、そして地域の皆さまのご理解ご協力のおかげで、何とか１学期終業式を迎えることができます。心より感謝申し上げます。

１学期を振り返り、本校が特色ある教育活動として掲げている「一人一人を伸ばす」「一人一人ができる」「家庭や地域とともに」を進めることができたか考えてみました。２か月の臨時休業により、授業日数は４７日間となりました。その中で新しい学習指導要領にのっとった学習指導を進めてまいりました。感染リスクを考えたときに実施できないと判断した行事もありました。実施方法を変更しながら地域の方に協力していただき実施できた取組もありました。保護者の皆さまには、お子さまが学習している姿を直接見ていただく機会を設けることができませんでした。

目の前の子どもたちを見ていると、確実に成長したと感じられることがたくさんあります。ひらがなをしっかりと覚えました、グラフを使った記事を書くことができるようになりました、目標にした縄跳びの技に毎日挑戦しています、委員会活動に匹敵する活動を自主的に進めています、低学年に優しい言葉をかけています、普賢寺のいいところをいっぱい見つけています。本当にご家庭、地域の方々に支えていただき、子どもたちを温かく見守っていただいたおかげだと感謝しております。ありがとうございました。

７月の朝礼で、「作り出すことを楽しむ」という話をしました。今まで通りではない、「新しい生活様式」の中でどうしたら遊べるのか、みんなで知恵を出し合って作り出してほしい、作り出すことを楽しんでほしい、という願いです。

これからの社会は益々変化の予測ができません。振り回されるのではなく、ぶれない「芯」をもち、その中で作り出す力を身に付けてほしいと願っています。

第２学期も、引き続き「新しい生活様式」による学校教育活動を進めてまいります。さまざまな点に留意しつつ、保護者の皆さまに学習に取り組むお子さまの様子を見ていただける機会も設けていきたいと考えております。状況が日々変わる中ですので、実施時点で変更、中止をする場合があります、活動等制限させていただくこともありますが、ご理解いただきますようよろしくお願いします。

新型コロナウイルス感染症は、再び感染拡大をしていると思われる報道があります。２週間の夏休みに入りますが、その間も感染予防あわせて熱中症対策に心がけていただき、２学期始業式に元気に登校できるよう、引き続きのご協力をよろしくお願いします。

２学期の主な行事予定

８月２４日（月）２学期始業式・短縮４校時
８月２５日（火）短縮４校時
８月２６日（水）給食開始
８月２８日（金）授業参観・学級懇談会（お・２・４・６年）
８月３１日（月）授業参観・学級懇談会（１・３・５年）
１０月２３日（金）体育参観（１～４校時）・小規模特認校説明会
１１月　７日（土）授業参観２校時（お・２・４・６年）
　　子育てセミナー３校時（青少年問題連絡協議会主催）
　　授業参観４校時（１・３・５年）
１１月　９日（月）振替休業日
１１月２４日（火）２５日（水）修学旅行（６年）
１２月１７日（木）給食終了・個別懇談会
１２月１８日（金）個別懇談会
１２月２１日（月）個別懇談会
１２月２２日（火）２学期終業式

授業参観の実施について

1学期は実施を見合わせていた授業参観を、2学期は実施します。

実施にあたっては新型コロナウイルス感染症対策として、学年を分けて実施します。

8月実施予定の授業参観については、別紙「授業参観及び学級懇談会のご案内」をご確認ください。

２学期以降に予定していた行事について

下記の行事は、新型コロナウイルス感染症予防のため、中止及び内容の変更を予定しています。

① 夏季作品展8月31日（月）～9月1日（火）　　各教室にて数日間展示
② ふげんじっ子大運動会（全学年）9月26日（土）
例年通りの開催はせず、内容･方法を検討し、体育参観（10月23日）として実施予定
③ 林間学習（4、5年生）5月20日（水）、21日（木）
新型コロナウイルス感染症の拡大状況、泊を伴う活動であること、密が想定される活動であること等児童の安全面を十分に保証できない状況にあり中止することとします。
④ **京田辺市小学校児童陸上運動交歓記録会（6年）**
一堂に会することはせず、各校で記録をとり、記録証を出します。
⑤ 学習発表会（全学年）11月7日（土）
例年通りの開催は難しいですが、3学期に子どもたちが発表できる行事を検討しています。
⑥ マラソン大会（全学年）12月2日（水）
例年通りの実施はしません。

学校行事以外で中止が決まっているもの
① 綴喜小学校駅伝競走大会（5、6年）
② やましろ未来っ子EKIDEN（5、6年）
③ 京田辺市少年の主張大会
④ JA共済書道コンクール



夏季休業期間を自主学習で力を伸ばす２週間に！

これから、約2週間の夏季休業期間に入ります。今年度は、夏季休業期間に学級担任から出される課題の他に、自主学習に取り組むことを奨励します。

今年度から実施されている学習指導要領において、子どもたちにつけたい力の一つとして「主体的に学習に取り組む態度」があげられています。子どもたち自身が、自ら様々なものへの興味関心を広げて課題を自ら設定したり、それを自分で解決したりできるような力を身につけていくことが求められています。先日配布の「家庭学習のすすめ」においても、宿題が終わった後の時間を使っての自主学習を促していますが、夏季休業期間中もその取組を続けていきます。また、これまで通り自由研究や作品制作などに興味関心がある児童は、それを自主学習として取り組んでもかまいません。「2週間しかない」ではなく「2週間もある」という発想で、子ども達がいろいろなものに興味関心を持ったり、自分で課題を設定し、それを解決したりする力が育っていくよう、各学級で指導を行います。

一人一人に未来の夢を描く力を！

～キャリア教育の取組～



先日の七夕夏まつりの短冊に、「サッカー選手になれますように」という願い事がありました。子どもたちには、夢を持ち、一人一人が実現に向けて生きてほしいと願います。しかし、グローバル化、雇用の多様化･流動化、産業や経済の様子の変化など、現代の社会環境の変化はめまぐるしく、子どもたちが生きる将来の社会の姿を想像することは簡単ではありません。そんな社会に子どもたちが希望を持って生きていくためには、変化を恐れない対応力や姿勢などを身につける必要があります。子どもたちにそういった力を身につけさせるための教育の一要素として、キャリア教育が位置づけられています。キャリア教育を通して、一人一人が未来の夢を描く力を身につけてほしいと考えています。

普賢寺小学校のキャリア教育では、「児童が学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的･職業的自立に向けて必要な基盤となる資質･能力･態度を身に付けていくこと」を目標に取組を進めています。



具体的には普賢寺小学校での教育活動の特色の一つでもある「一人一人ができる」体験活動を通して、さまざまな職業や物事への関心を広げることや、教科や日常の生活と結び付けながら自分の将来を展望するきっかけとしています。

また、日常生活では、当番活動や係活動、掃除時間、朝の会･帰りの会などを通して、周りの人のために働くことや協力すること、自らの生活の中から課題を見つけて解決していく力を身につけます。



さらに、教科では、それぞれの教科の知識や技能を生活場面に結び付けたり、それを用いて課題を解決する思考力･判断力･表現力を育成したりすることや、対話や協働的な学習を通して他者と考えを出し合い広げたり、みんなが納得できるような一つの解決方法を見つけたりしようとする態度を身につけます。



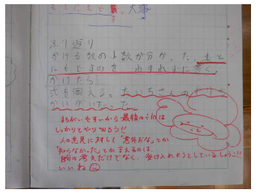
今年度から「キャリアパスポート」の取組も始まっています。キャリアパスポートとは、子どもたちが小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる資料や学級活動の時間に「○年生の自分のめあて」を決めたり、それを振り返ったりする活動に係る資料などを綴じていき、子どもたちが自ら自分の成長を振り返ったり、キャリア形成を見通したりするために活用するものです。普賢寺小学校でも、それぞれの学年で活用が始めています。

学校生活の様々な場面を通して、子どもたち一人一人が夢を描く力を身につけられるよう指導して行きます。

「普賢寺小学校ならでは」の教育を進めています！

一人一人を伸ばす

めあてとふりかえり



一人一人の学力を伸ばすために、子ども達と1時間の授業でできるようになることや考えることを共有する「めあて」の設定と、授業の終わりに、子ども達自身が何を学んだり、どう学べたりしたかを思い起こす「ふりかえり」を大切にしています。

下校指導の様子



同時刻に下校する学年が集まり、一斉下校を行っています。
その際、曜日ごとに決められた学年の代表者が集合の様子や、最近の学年の様子について話します。

代表は、学年の中で順番に回り、子ども達一人一人が話題を考えたり、適切な声の大きさで話したり伝えたりする力などの人前で話す力を伸ばせるように取組を続けています。

一人一人ができる

畑の学校





地域の畑の先生（田宮さん）にお世話になり、1･2年生はトウモロコシとサツマイモ、2･3年生はタマネギ、4年生は黒豆を栽培しています。一人一人が植え付けや収穫などを体験することができるよう、計画しています。

田んぼの学校



5年生は、田んぼの先生（大冨さん）を中心に地域の皆さんにお世話になりながら、総合的な学習の時間に1年間を通して、米の栽培を体験します。広い田んぼに、一人一人が何本もの苗を植えていきます。

苗が植え終わった田んぼを見て、一人一人が農業のやりがいや大変さを感じることができました。

家庭や地域とともに

ふるさと普賢寺体験学習「じゃがいもの収穫」



校区の地域のなのはな委員、なのはな部会員の皆さまのご協力のもと、じゃがいもの収穫を行いました。当日は、子ども達、保護者の皆さんと地域の方々が一緒にじゃがいもの収穫作業を行い、和やかな時間が畑に流れていました。これからも、家庭と地域との連携を大切に取組を進めてまいります。